

北九州のまちが好きなんです！

た い し

よしむら太志

北九州市議会議員 <小倉南区>

会派：自由民主党無所属の会

2月・6月
合併号

2025年 第1回 市政報告だより

令和7年2月
議会一般質問

2月・6月本会議で市長、執行部に対して一般質問を行いました。
6月議会にたくさんの方が傍聴に来てくださいました。
ありがとうございました！

① 地元企業支援について

質問 厚生労働省の2024年版ものづくり白書によると、製造業における人材育成の問題として6割以上の事業所が「指導する人材が不足している」と回答し、次いで「人材育成を行う時間がない」が多くなっている。中小企業の人材不足に対する市の認識、また、今後どのような取組みを重点的に進めていくのか。

市長 北九州市が毎年実施している雇用動向調査でも、「従業員が不足している」と回答した企業が全体の6割を超えているほか、技術継承においては「指導する人材が不足している」と回答した企業が5割となっており、中小企業にとって人材不足は重要な課題であると認識している。これまで、若手人材の採用・定着支援や企業への助成、技術継承に関する実技講座の開催などに取り組んでいるが、現状、労働市場は売り手市場であり、求職者に選ばれ魅力ある中小企業になることも重要であることから、経営層向けの人的資本経営セミナーや、奨学金返還支援制度の導入企業に対する助成等にも新たにに取り組んでいく。

② ゴミのないまちづくり

質問 「もっとまちをきれいに」という意識を高め、広く市民が気軽にまち美化活動に参加するよう促す必要があるのではないか。



局長 北九州市は「自分たちのまちは自分たちで美しく」という合言葉のもと、まち美化に関するイベントを通じて多くの方々に清掃活動にご参加いただいている。また北九州市環境衛生総連合会をはじめ、企業や学校、ボランティア団体等が、それぞれの地域や職場活動などで日常的に活動を行っていただいている。北九州市が全国に誇れる高い「市民環境力」に感謝申し上げる。新たな取り組みとして、①ごみ拾いをスポーツとし、ごみの量や種類を競う、②ジョギングしながらパトロールやごみ拾いを行う、③クリスマスの時期にサンタクロース姿でごみ拾いする等、工夫を凝らした取組みも広がっており、学校や専門学校等への声かけをはじめ、幅広い世代にまち美化活動の裾野を広げていきたい。

③ 受動喫煙対策について

質問 健康増進法に定める受動喫煙防止のための分煙施設の趣旨を積極的に啓発するとともに、市が地方たばこ税の一部を活用して公共喫煙場所の増設、維持または改善を積極的に進めるべきではないか。

局長 北九州市の公共喫煙所は現在、迷惑行為防止重点地区として路上での喫煙が禁止されている、小倉と黒崎地区において喫煙所を設置し、モラル・マナーの向上に向けた周知啓発に取り組んでいる。公共喫煙所の増設については、周辺の分煙施設の管理者とも情報共有を図りながら、受動喫煙対策や灰皿の維持管理等の課題解決に向け、必要な検討をしていきたい。

トピック 議会にオフィスカジュアルが導入されました！！

オフィスカジュアル
導入のメリット

- ✓ 職員の満足度向上
 - ✓ 気候への対応・快適性
 - ✓ 作業効率の向上
 - ✓ 新たな発想の創出
- 等々





議会質問が6月6日毎日新聞 6月7日西日本新聞で紹介されました

6月5日の市議会一般質問において、学校施設の老朽化対策について質問しました。この発言は毎日新聞、西日本新聞にも取り上げられ、教育長からは「守恒小と篠崎中の改修を最優先で進めたい」との前向きな答弁がありました。

現在、国の交付金が不採択となる事例が全国でも相次いでおり、本市でも改修工事の入札が中止されるなど、自治体の現場では深刻な影響が出ています。限られた財源の中で、子どもたちの安全と学びの環境を守るため、引き続き国への働きかけと市の対応を求めてまいります。

西日本新聞（2025年6月7日付）より一部引用



① 学校施設の大規模改修について

質問 守恒小学校と篠崎中学校で予定していた大規模改修が、国からの補助金が得られず工事が中止された件について、経緯と今後の事業の方向性を伺う。

教育長 学校施設の改修事業は、毎年文部科学省が調査し、国の予算として成立後、各自治体に内示される。これまで不採択になったことがなく、例年どおりの手続きで工事を予定していたが、国の予算が減額となり、他の都市も含めて申請していた事業の一部が不採択となる事態が生じた。市として、他の政令市とともに国へ予算確保のための緊急要望を行うとともに、不採択となった守恒小学校と篠崎中学校の補助金が最優先で採択されるよう、個別に申し入れを行っていく。

② 若者を応援するまちについて

質問 本市は「日本一若者を応援するまち」を掲げ、全国初の「Z世代課」を設置するなど、様々な取り組みを進めている。未来を担う若者への期待や、彼らが望むことをどう市政に生かしていくつもりなのか、見解を伺う。

市長 次の時代につないでいける北九州市をつくるためには、若い世代の感覚や考え方を上の世代が学び、取り入れていく必要がある。また、若者が一歩踏み出すためには、上の世代がどんな挑戦であっても否定しないこと、そして、北九州市でなら失敗を恐れずに挑戦できるということを若者が感じられるまちとなることが重要である。引き続き、Z世代課の取組を通じて、官民が一体となって若い世代の背中を押しながら、世代を超えて繋がっていく気運を醸成し、持続可能なまちづくりを進めていく。

③ 農業振興について

質問 農業の振興には生産性を高めるための「ほ場整備」が必要と考えるが、市の取り組みの進捗と、新たな担い手確保のための農業参入を支援する取り組みについて伺う。

局長 「ほ場整備」は現在、市内14ヶ所で実施中のむらづくり活動の中で、機運醸成に努めている。昨年度は吉兼・岡地区で4回勉強会を開催し、国の補助制度を活用するため、合意形成に向けた支援を行っている。新たな担い手の確保については、就農相談や研修などを実施しているほか、就農直後の経営安定を支援する補助金制度も活用してもらっている。今後も就農希望者が農業にチャレンジできる環境づくりに取り組んでいく。

④ 臓器移植の啓発について

質問 移植医療の理解促進、普及啓発に取り組む「臓器移植普及推進月間（10月）」に、本市も施設のライトアップなどを行い、啓発活動に参画してはどうか。



市長 小倉城などのシンボリックなランドマークをライトアップすることで、臓器移植に対する市民の理解がさらに広がることが期待できるため、効果的なPRの1つとして、検討していきたい。

暑い夏がやってきました!! 熱中症にお気を付けください

よしむら太志市政事務所

〒802-0841 北九州市小倉南区北方1丁目 2-12
TEL : 093-932-0013 FAX : 093-932-0014
✉ E-mail : taisi@mist.ocn.ne.jp

お気軽に
ご相談
ください!



◆プロフィール

53歳 昭和47年6月16日生まれ
北方小学校 卒業
曾根中学校→田原中学校 卒業
柔道部全国大会団体優勝
県立北九州高等学校 卒業
レスリング部所属 とびうめ国体準優勝
中央大学 法学部法律学科 卒業
◆北九州市レスリング協会 理事長
◆北九州柔道会 顧問
◆保護司 他多数

小倉南区の魅力を
発信中!!



TikTok



Instagram



HP